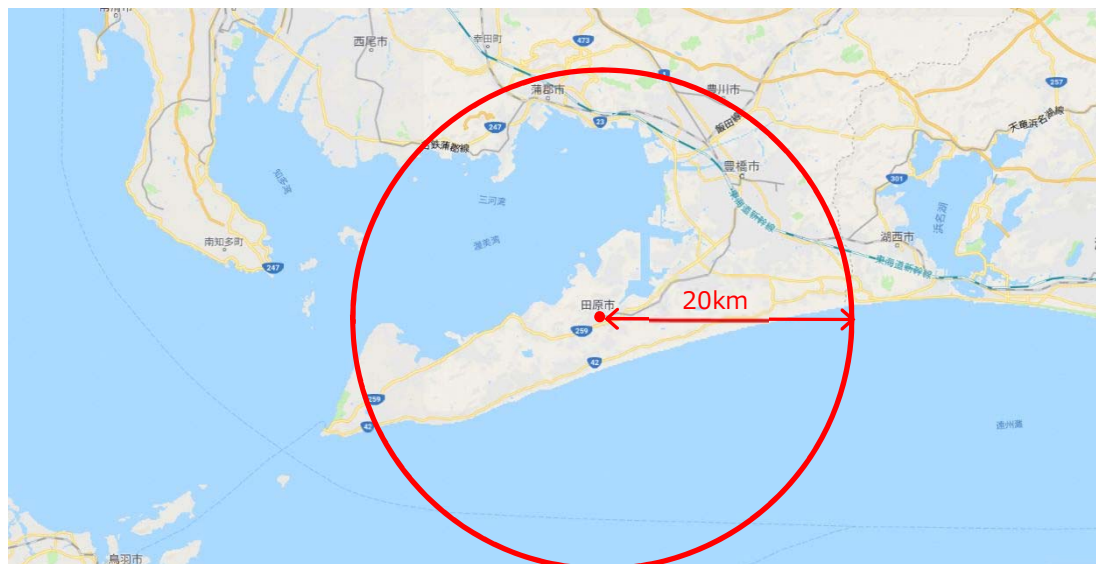


面的開発のマネジメント（ラグラン）の事例

1. 愛知県田原市のラグランの事例

三河田原駅に隣接した駅前拠点開発（約 1,940 m²）。



ラグランの広域位置図



ラグランの位置

2. ララグランの整備内容

田原市の中心市街地と渥美半島全体の活性化を目的にした駅前開発。

事業の目的

- 1 渥美半島産の安心・安全・新鮮な食を提供する『商業施設』
- 2 田原らしさを感じ、訪れた人が憩える空間を提供する『まちなか広場』
- 3 子育て世代が交流できる場を提供・発信する『親子交流施設』

○事業名

三河田原駅前工場跡地活用事業

○跡地施設全体総称

LaLaGran（ララグラン） ※ララ＝夢見心地な、うっとりするような グラン＝素晴らしい からの造語

○事業施設

- ◎エリアマネジメント： 株式会社あつまるタウン田原
- ◎商業施設＝渥美半島産の安心・安全・新鮮な食の提供【事業主体：株式会社あつまるタウン田原】
- ◎まちなか広場＝田原らしさを感じ、訪れた人が憩える空間の提供【事業主体：田原市】
- ◎親子交流施設＝子育て世代が交流できる場の提供・発信【事業主体：田原市】

○開業スケジュール

- ◎平成 30 年 6 月 3 日（日曜日） ※商業施設、まちなか広場
- ◎平成 31 年春頃予定 ※親子交流施設

株式会社あつまるタウン田原とは

出資：田原市 50%（5,000 万）、商工会 1%（100 万）、企業 31%（3,100 万）、商店主 11.5%（1,150 万）、個人 6.5%（650 万） 事業内容：セントファール（商業施設）の運営、蔵王山展望台の運営、公営駐車場の運営 体制：従業員は 3 名＋パート 2 名
--

整備の裏話

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・エリア全体を株式会社あつまるタウン田原で整備すると、収支が成り立たない可能性が高く、行政との連携のもと、まちなか広場は田原市が整備し、株式会社あつまるタウン田原は、商業施設部分の敷地、駐車場の敷地のみを借りている。地代は、固定資産税相当まで減免してもらっている。・テナント募集は、公募したものの、応募者は皆無であった。そのため、株式会社あつまるタウン田原のタウンマネージャーが、近隣の事業者へ声をかけてテナントを集めた。田原市の事業者が参入するのが理想だが、現実的には、豊橋市の事業者が参入している。 |
|--|

三河田原駅前工場跡地活用事業

LaLaGran 平成30年6月3日オープン



LaLaGran (商業デサント・まちなか広場)



ガーデンシティセンター整備構想

「渥美半島の魅力発信と子育て世代の安心とうるおいの創出」

・食の6次産業化による

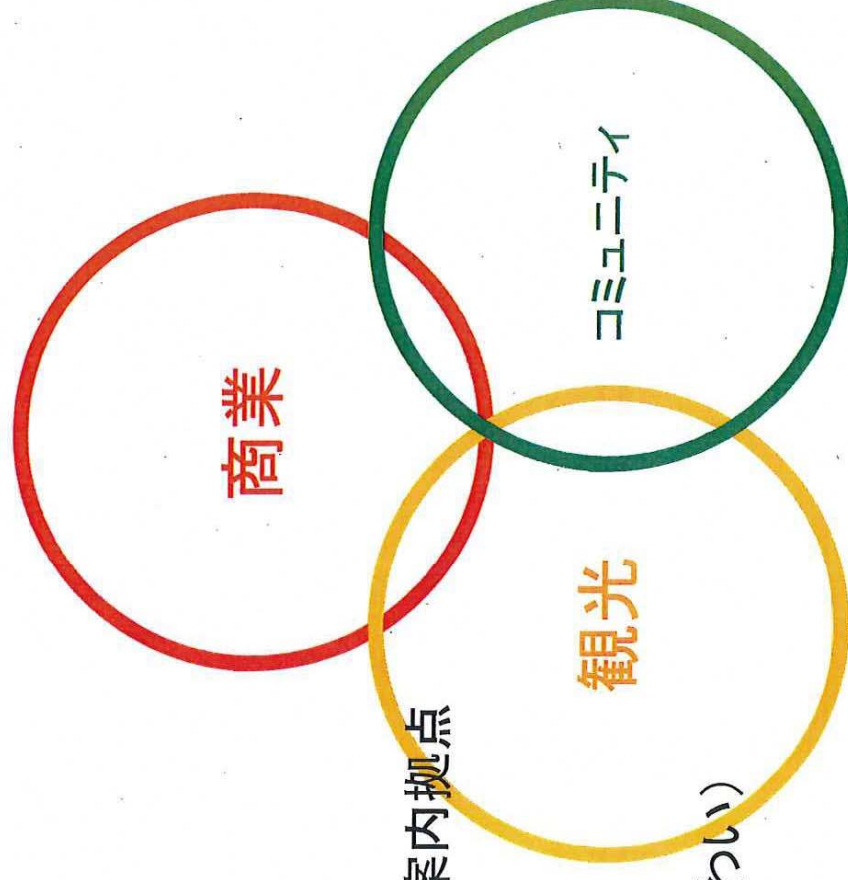
渥美半島産の安心・安全・新鮮な“食”を
体感できる商業施設の整備

・渥美半島のエントランス

食による渥美半島の発信
渥美半島を体感するツーリズムの受付・案内拠点

・コミュニティの拠点

集い、憩い、幸福を感じられる場
子育て世代の安心とうるおい(安らぎ・賑わい)
の創出



【まちなか広場】

- 親水広場（噴水施設、サークルベンチ）
- 芝生広場 638 m² ○エントランス 561 m² ○回廊

【工事】

カツミ建設株式会社（親水広場、エントランス、回廊）
株式会社パイオニア・グリーン（芝生広場）

【設計】

株式会社環境デザイン研究所

【商業施設】（3棟共 鉄骨造 1 階建）

- テナントⅠ
- 半島キッチン ビオまりん 321.84 m² / 株式会社渥美フーズ
- テナントⅡ
- MERCY'S CAFE 182.49 m² / ヌルシース
- Flower shop Hayashi 66.45 m² / フラワーショップ林
- 田原観光案内所 16.75 m² / 株式会社あつまるタウン田原
- テナントⅢ
- ビスコットカフェ こすたりか 157.25 m² / 株式会社イデアル・アトレ

【工事】

壽鋳業株式会社

【設計監理】

株式会社環境デザイン研究所

【活用した支援制度】

経済産業省「平成 28 年度地域未来投資促進事業費補助金（まちなか集客力向上支援事業）」